

KYUSHU

BLOCK EVENT

2023



12 / 3 (Sun)

令和5年度 青少年国際交流を通じて国際社会や地域社会への貢献を考えるつどい (九州ブロックイベント)

テ - マ 大分での「船を使った青少年育成」と「外国人の暮らし」

会 場 ホルトホール (<https://www.horutohall-oita.jp/>)
大分市金池南1丁目5番1号 (JR大分駅徒歩2分)

日 時 12月3日(日)
第1部 13:00-15:50 第2部 16:00-17:00

参加費 無料

お申込み <https://forms.gle/pAKBR93p8V6otEtj7>

要事前予約



締め切り:11月26日(日)

大分

での「船を使った青少年育成」と「外国人の暮らし」

大分県には、1980年から40年以上続く「大分県少年の船」事業があります。この事業は、現在の内閣府青年国際交流事業「世界青年の船」事業の前身である「青年の船」事業に参加した日本青年国際交流機構（IYEO）会員が事後活動の一環として大分県と協力して立ち上げに携わりました。この事業には平松元大分県知事や広瀬前大分県知事も参加して小学生、中学生や高校生と共に乗船し、大分県の青少年育成の重要な役割を担ってきました。全国各地で船を用いた事業が廃止される中で、大分県では船事業が脈々と根付き、コロナ禍を経て航空機を用いた事業へとさらに発展しています。大分県で進化を遂げている船事業を通じて青少年育成について皆さまと語り合うこの貴重な機会が、改めて今後の船事業や青年国際交流事業について考える新たな一歩となることを願っています。



第1部

13:00～13:05 開会式
13:05～13:20 内閣府青年国際交流事業について
13:20～14:20 基調講演
14:35～15:35 分科会
15:40～15:50 閉会式

基調講演

「少年・青年が成長する時に出会う2種類の人 ～青年ボランティアと共に活動して見えてきたこと～」

「大分県少年の船」事業において、船を用いた青少年育成についてアドバイザーとして乗船し、多くの子どもたちを見守ってきた高見氏より、「大分県少年の船」事業や青年ボランティアの経験について講演をしていただきます。



講師:高見大介氏
日本文理大学
人間力育成センター センター長

分科会

A 『「世界青年の船」事業 リレートーク』

新たな「世界青年の船」事業（SWY）が実施されているなかで、新しいSWYの既参加青年の事業報告と共にこれからのSWYについて発信します。コロナ禍前まではSWYは船での活動があっただけでしたが、今までは違う「オンラインやハイブリッドのSWY」という貴重な経験をしている青年たちからの未来の新しいSWYの可能性について、新たな視点でSWYを深掘しましょう。



発表

2021年度「オンライン世界青年の船」事業参加青年
2022年度「ハイブリッド世界青年の船」事業参加青年

B 『大分に暮らす外国ルーツの 子どもの暮らし』

海外から大分にやってきた外国にルーツを持つ子どもたちへの就学前、また初等教育における日本語の支援や、彼らのアイデンティティを守るための活動など、子どもたちの豊かな学びのために、地域に住む私達ができることを一緒に考えます。



ファシリテーター
ジョーンズ佳世子氏
立命館アジア太平洋大学職員

C 『大分で働く 外国人技能実習生の現状』

外国人技能実習生を受け入れている介護施設において、コロナ禍を経て海外からやってきた技能実習生らの働く現状と課題を語り合います。



講師
宮崎隆男氏
特別養護老人ホーム 日田園施設長



第2部

16:00～17:00 事後活動交流会

コロナ禍を経て久しぶりに対面で開催されるブロックイベントであることから、参加者同士がひざを突き合わせて密に語り合える交流会を開催します。全国に活動拠点を持つ事後活動組織であるIYEOのネットワークを活かして、内閣府青年国際交流事業やそれぞれの地域での事後活動についての有意義な最新情報を共有するとともに、参加者が持ち寄った各地のお土産で交流する「地域理解お土産マルシェ」を開催し、集まった売り上げはIYEOの活動資金として寄付する予定です。

令和5年度 青少年国際交流を通じて国際社会や地域社会への貢献を考えるつどい（九州ブロックイベント in 大分）

第1部

主催：内閣府

共催：日本青年国際交流機構、大分県青年国際交流機構

運営事務局：（一財）青少年国際交流推進センター
九州ブロックイベント第1部実行委員会

後援：大分県

第2部

主催：大分県青年国際交流機構、日本青年国際交流機構
（一財）青少年国際交流推進センター

運営事務局：九州ブロックイベント第2部実行委員会

後援：大分県

協力：内閣府

